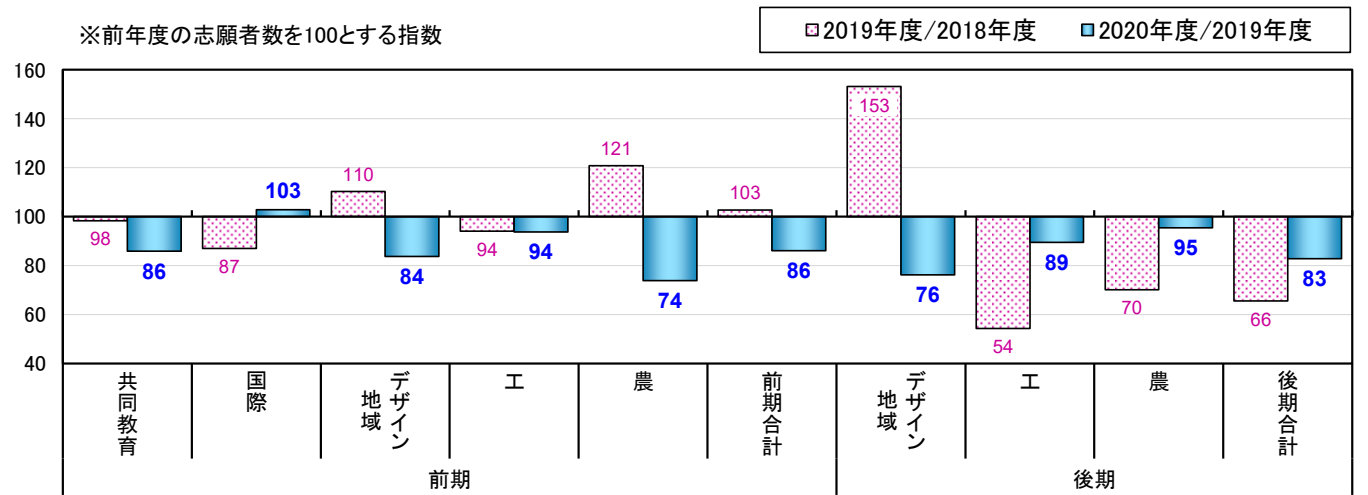


2020 年度入試状況分析【国公立大】

宇都宮大：前期・後期ともに大幅減少、志願者数は過去 10 年間で最少 前期：-222 人 後期：-88 人



(注) 共同教育の 2019 年度・2018 年度は旧教育との比較

入試変更点	<p>学部改組：共同教育<前>…群馬大と合同で共同教育学部を設置 教育(学校教育/教育系、文系、理系、実技系) →共同教育(学校教育/教育人間科学系、人文社会系、自然科学系、芸術表現・生活・健康系) ※宇都宮大のキャンパスで学修し、一部群馬大の単位も履修する</p> <p>募集人員：地域デザイン科学(建築都市デザイン)…<前>35人、<後>9人→<前>39人、<後>8人 (社会基盤デザイン)…<前>23人、<後>12人→<前>25人、<後>10人</p> <p>センター試験：地域デザイン科学(建築都市デザイン)…国+歴公+数2+理(物)+外 →国+歴公+数2+理2(物+(化 or 生 or 地学))+外</p> <p>個別試験：地域デザイン科学(建築都市デザイン)<前>…数<400点>→数<300点> <後>…実技<300点>→なし (社会基盤デザイン)<後>…小論文<300点>→なし</p>
--------------	---

COMMENT ※ () 内の数値は志願者数の前年度対比指数

大学全体では、前期は 222 人 (86) の大幅減少で 3 年ぶりの減少、志願者数は 1,400 人を下回った。後期は 88 人 (83) の大幅減少で、2 年連続大幅減少。志願者数は 500 人を下回った。

- <前期日程>**
- 共同教育(86)は、系統への低い人気から 15%近い減少で、旧教育から引き続いて 2 年連続減少。
 - 国際(103)、前年度大幅減少の反動は小さく、やや増加に留まった。
 - 地域デザイン(84)は、大幅減少。学科別では、3 学科はいずれも減少で、(社会基盤デザイン)(70)、(コミュニティデザイン)(84)は大幅減少。
 - 工(94)は、減少で 3 年連続減少。志願倍率は 1.9 倍と 2 倍を下回った。
 - 農(74)は、前年度大幅増加の反動で、大幅減少。学科別では、(森林科学)(209)は倍増以上だったが、他の 4 学科はいずれも大幅減少で、特に(農業環境工)(49)半減以上の減少だった。

- <後期日程>**
- 地域デザイン(76)は、2016 年度の新設以来増加が続いていたが、その反動で大幅減少。学科別では、(建築都市デザイン)(168)は大幅増加だが、他の 2 学科は(コミュニティデザイン)(53)、(社会基盤デザイン)(72)のいずれも大幅減少。
 - 工(89)は、減少で 3 年連続減少。志願倍率は 3 倍を下回った。
 - 農(95)は、前年度大幅減少に引続き、やや減少で 3 年連続減少。後期を実施する 4 学科では、(応用生命化学)(136)、農業経済(116)が大幅増加、(農業環境工)(69)、(生物資源科学)(85)が大幅減少と増減が分かれた。